

メモリアル施設（新斎場）

建設候補地を選定

市はこのたび、辻原地域（坂本）をメモリアル施設（新斎場）建設候補地に選定しました。

今回の選定は、同施設の建設地決定ではなく、候補地として地域の皆さんと対話し、ご理解いただく取り組みを行なうものです。
地域の皆さんが抱く不安や心配を

問メモリアル施設整備課（☎内線 136）

払拭し、ご理解いただくことができよう丁寧に説明してまいります。
こうした対話を経て、双方が納得したうえで「基本合意協定書」の締結を目指します。

メモリアル施設は従来の斎場のイメージを覆すようなデザインにするなど、地域の皆さんと共に検討して

まいります。

また、地域の皆さんにご理解いただけるよう、他市の先進地視察会を計画します。

施設供用開始は令和12年度を目指しています。

ホームページでは最新情報のお知らせや、皆さんのご意見を募集しています。詳しくは二次元コードからご覧ください。



選定までの経緯

【令和5年度】

・先進火葬施設市民視察会や広報活動を実施

▼中津・苗木・坂本で計11力所の土地情報の提供あり

・現中津川斎場周辺などを含め計14力所から候補地調査を開始。

【令和6年度】

・市役所内部に「メモリアル施設候補地選定部会」を設置。候補地選定条件と評価内容による協議を7回実施。

・評価内容は「地域性」「環境性」「経済性」の項目を点数方式で行い、点数の高い3力所※を候補地（案）に選定。

※現中津川斎場周辺、茄子川上平地域、千旦林辻原地域

・右記の坂本地域では、地域勉強会、先進火葬施設地域視察会を開催し、検討委員会が設置される。

【令和7年度】

・令和7年3月、情情的に受け入れられない意見もある中、条件付き、また、将来の地域づくりのためであればと「地域の願いと要望書」が提出される。

・令和7年4月、メモリアル施設候補地選定部会で検討し、千旦林辻原地域を選定した。

選定場所

中津川市千旦林字辻原地内
・現況 農地、市道坂本23号線沿い



選定理由

①地域性



情情的に受け入れられない意見もあるなか、農業後継者不足への不安や農地荒廃など、将来的な活性化を望む声がある。

②将来性



坂本北部一帯の活性化をどのようにしていくか、地域の皆さんと共に考える官民連携事業を進める。

③環境性



二車線道路で、市内葬儀場から40分以内で移動できる。

④経済性



ライフラインが整備されており、造成が容易で、地形的に立地しやすい。